J. Jpn. Soc. Soil Phys.
土壌の物理性
No. 161, p.35～36 (2025)

資　料
Miscellaneous

カーカム会議 2025 実施報告

カーカム会議日本委員会　登尾浩助[1]・溝口 勝[2]

Report of the 2025 Kirkham Conference: Fukushima, Japan

Kosuke NOBORIO[1] and Masaru MIZOGUCHI[2]

1. 開催概要

会議名：カーカム会議 2025（The 2025 Kirkham Conference: Fukushima, Japan）

期間：2025 年 8 月 18 日（月）～ 8 月 22 日（金）

会場：J ヴィレッジ（福島県楢葉町），飯舘村長泥地区，大熊町中間貯蔵施設・原子力災害伝承館など

主催：アメリカ土壌科学会

後援：土壌物理学会・復興農学会・農業農村工学会・日本土壌肥料学会・福島県・飯舘村・復興庁福島復興局・福島地方環境事務所・福島国際研究教育機構（F-REI)

参加者数：国内外から 96 名（うち国内研究者 37 名）

関連資料：カーカム会議＠福島（https://www.iai.ga.a.u-tokyo.ac.jp/mizo/kirkham-conference/）

2. 土壌物理学会からの支援

本会議の開催にあたり，土壌物理学会より 50 万円の寄付を賜りました．この支援金は，会議運営費の一部として使用しました．会員の皆様に厚く御礼申し上げます．

3. 寄付金

学会・企業等からの寄付金総額： 2,879,869 円（うち土壌物理学会寄付分：500,000 円）
使用内訳については，6. カーカム会議会計報告参照

4. 成果と意義

本会議では，「土壌物理学の進歩：デジタルイノベーションから環境ソリューションへ」を テーマに，世界各国から土壌物理学分野の研究者が集まり，最新の研究成果を共有しました．特に，日本からの若手研究者や学生の参加が多く，国際的な人的ネットワーク形成に大きく貢献しました．また，文化交流として東大応援部とじゃんがら念仏踊りの紹介，福島県産品の提供と「だるま」配布を通じて地域との連携強化にもつながりました．

5. 今後の展望

今回の成功を契機として，土壌物理学会と米国土壌科学会の連携を一層深め，若手研究者の国際発表機会が増えることを希望します．カーカム会議に関する VZJ 特別号を出版予定です．執筆依頼が来た場合はお引き受け下さい．改めて学会からの支援に心より感謝申し上げます．

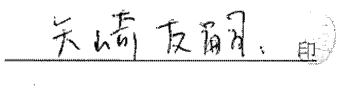
6. カーカム会議会計報告（日本委員会）

会計監査報告書

2025 年 10 月 20 日

カーカム会議日本委員会
共同委員長　溝口 勝 殿，登尾 浩助 殿

カーカム会議日本委員会
会計監査



会計監査報告

Kirkham 会議日本委員会の収支決算書ならびに関係帳簿類について，2025 年 10 月 20 日に厳正に監査を行った結果，それらの執行は適正であり，提出のとおり相違ないことを確認した．

[1] 明治大学農学部
[2] 東京大学大学院農学生命科学研究科

自 2025. 3.25
至 2025.10. 3

収入の部

項　　目	予算額（円）	備　　考
寄付金等	2,879,869	200,000 円 × 5 口，400,000 円 × 1 口，500,000 円 × 1 口，979,869 円 × 1 口
合　　計	2,879,869	

支出の部

項　　目	決算額（円）	備　　考
人件費	889,400	アルバイト関連費用
旅費交通費	582,963	バス代，レンタカー代，高速 · ガソリン代等
会場費 · 設備費	124,470	飯舘村交流センター使用料，ポスターボード利用料，ハンディマイク利用料
消耗品費	287,425	横断幕，ポスター印刷代等
企画 · イベント費	976,146	ゲストスピーカー登録費，講師謝金，応援団，じゃんがら念仏踊り等
委員会運営費	19,465	振込手数料，ロゴ作成費
合　　計	2,879,869	

会議プログラム

(1) 第 1 日　8 月 19 日（火）
- 開会式
- セッション討議
- ポスターセッション

(2) 第 2 日　8 月 20 日（水）
- 現地視察：中間貯蔵施設，原子力災害伝承館

(3) 第 3 日　8 月 21 日（木）
- 現地視察：長泥地区環境再生事業，飯舘村比曽地区の畑地，山口紀子博士（農研機構）講演，菅野宗夫氏（飯舘村佐須区長）講演

(4) 第 4 日　8 月 22 日（金）
- セッション討議
- ポスターセッション
- 閉会式



Photo 1　J ビレッジでの開会式後の集合写真（8 月 19 日）



Photo 2　飯舘村長泥地区見学後の集合写真（8 月 21 日）